

Clostridioides difficile 感染症の 再発リスクに関する調査研究

の 野 むら 村 はじめ 肇

キーワード：*Clostridioides difficile*, *Clostridioides difficile* 感染症, 再発リスク

要 旨

Clostridioides difficile infection (CDI) CDI の再発リスクを検証する目的で、2017年1月1日から2021年12月31日までの CDI 発症患者を調査した。全113例のうち、35例を除く78例が登録され（非再発群54例、再発群24例）、両群間における背景因子や再発リスク因子などを比較した。両群間で、年齢や性別、CDI 発症前の抗菌薬使用歴などに有意差を認めなかった。初回 CDI の治療薬にはメトロニダゾールもしくはバンコマイシンが使用されていたが、両群ともに前者の使用が多かった。初回治療薬の使用割合や総投与量に関しては、両群間で有意差を認めなかった。再発リスク因子のうち、CDI 診断後の抗菌薬使用歴に関しては、非再発群4例、再発群8例となり、有意差を認めた ($p=0.006$)。他のリスク因子については両群間で有意差を認めなかった。

1) 序 文

本邦の *Clostridioides difficile* 感染症診療ガイドライン（以下、CDI 診療ガイドライン）上、CDI は約30%の患者で再発がみられるとされる¹⁾。同ガイドラインでは、65歳以上の高齢者、CDI 診断後の抗菌薬の使用歴、腎不全などの重篤な基礎疾患の存在などを再発のリスク因子とすることを推奨しているが、特に本邦における再発リスク

因子についての研究報告は少ない。そこで今回、当院入院患者における CDI 発症例を調査して非再発群と再発群にわけ、患者背景因子や CDI の再発リスク因子とされている項目などを比較検討することとした。

2) 材 料 と 方 法

i) 対象と方法

2017年1月1日から2021年12月31日までの間に CDI を発症した入院患者症例を後ろ向きに調査した。症例の情報は、各々の電子カルテを閲覧して収集した。初回 CDI に対して未治療あるいはメトロニダゾール (metronidazole: 以下 MNZ)

Hajime NOMURA

島根県済生会江津総合病院 外科
関西ろうさい病院 外科・乳腺外科(令和5年4月より)
連絡先: 〒660-8511 尼崎市稲葉荘3丁目1番69号
関西ろうさい病院 外科・乳腺外科